

令和8年度 沖縄県 生産性向上のための基礎セミナー



ノーリフティングケアの推進で、利用者と職員も笑顔に

2026年6月25日（木）

【事業所名】 社会福祉法人おもと会 特別養護老人ホームおもと園

【報告者名】 施設長 呉屋徹

01 事業所概要

02 取組概要・流れ

03 取組結果・成果

04 取組のまとめ



社会福祉法人おもと会

特別養護老人ホームおもと園

01

事業所概要

- 所在地：那覇市天久1000番地
- サービス種別：介護老人福祉施設
- 開設日：1988年2月1日（38周年）
- 移転日：2009年10月1日
- 利用定員：80名
- 平均介護度：3.8
- 従業員数 70名（R8年4月1日）
介護者42名（常勤換算37.9名）
内外国人介護者：9名

02

取組概要・流れ

02 取組概要・流れ

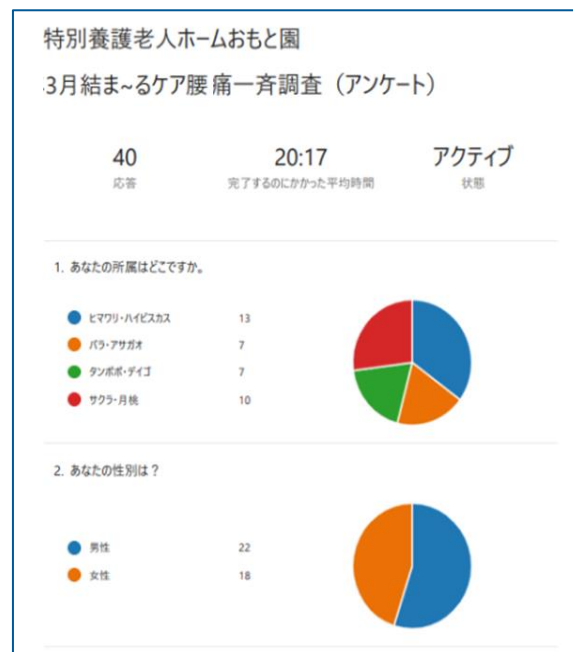
問題点の抽出と課題の明確化

【問題点】

1. 介護、医療現場で働く職員が、「腰痛」を訴えている
2. 入居者の重度化、生産年齢世代の減少、働く世代の高年齢化
3. 介護ケアによる事故発生
4. ノーリフトを推進するにも予算が…道具が…

【課題提起】

1. ノーリフト推進へ職員の意識改革
2. ノーリフト用品の整備確保へ予算捻出
3. ノーリフト技術の向上
4. ノーリフトの継続



02 取組概要・流れ

導入

1. 意識改革

- ① 結ま〜るケアプロジェクトを発足
- ② 年間計画と目標の設定
- ③ 毎月会議を実施
- ④ 毎月、OJT研修を2回実施

2. 予算の確保と用具の整備

- ① ICTの並行導入と業務改善を推進し、経費削減し費用捻出
- ② リースを活用し用具の整備

3. 法人全体の取り組みとして位置づけ

- ① 教育施設、NO LIFT® LABO 開設
- ② ノーリフトコーディネーター育成
- ③ 施設間交流の研修会実施



02 取組概要・流れ

教育

1. ノーリフトコーディネーター育成

- ① 日本 NO LIFT®協会と協力し、コーディネーター育成開始
→アドバンス2名、ベーシック6名育成

2. 施設内OJTの実施

- ① 外部講師、コーディネーターを中心に、毎月 2回OJT研修を実施

3. 交流会の実施

- ① 施設間交流の研修会 年1回実施



02 取組概要・流れ

継続

1. 目的の共有

- ① 利用者と職員のノーリフトを行う目的の共有

2. 毎月の定例会議と施設内OJT2回/月の実施

- ① 利用者の個別性にあつた移乗方法の検討と共有

3. 用具の整備

- ① リースの活用
- ② 3年計画での用具の整備

4. ケアの標準化

- ① ピクトグラムの設置



02 取組概要・流れ

評価

1. 評価の可視化→アウトカム設定

- ①腰痛、身体の痛みに関する動向確認
- ②職員のノーリフト実践率調査
- ③移乗に伴う、インシデント件数は減るのか
- ④結石影響の尿路感染症の発生数は減るのか

- ・Microsoft teams Microsoft formsを利用した調査の実施
- ・ケアカルテを利用した各種情報収集



03

取組結果・成果

03 取組結果・成果

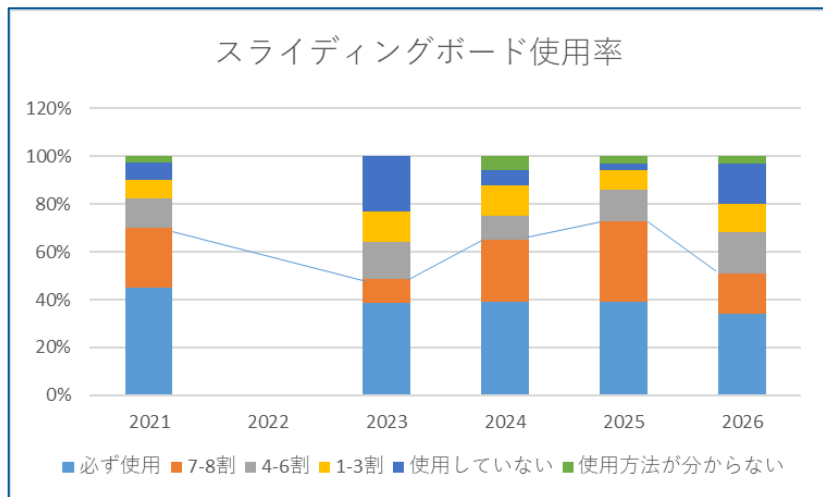
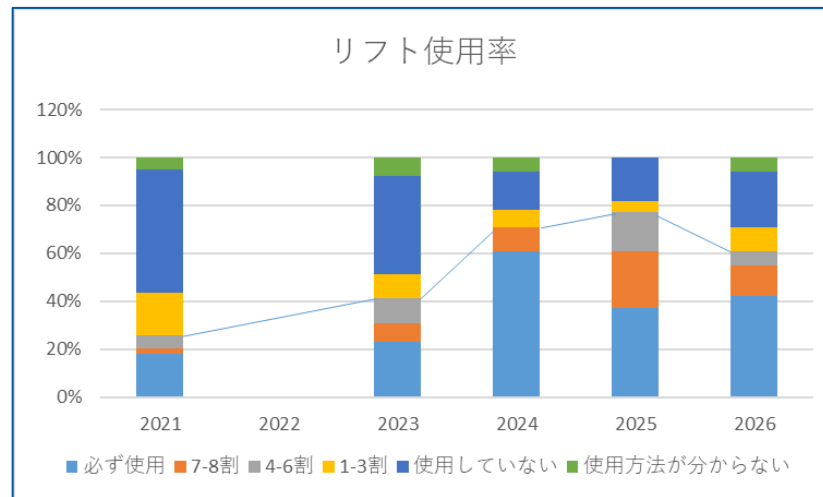
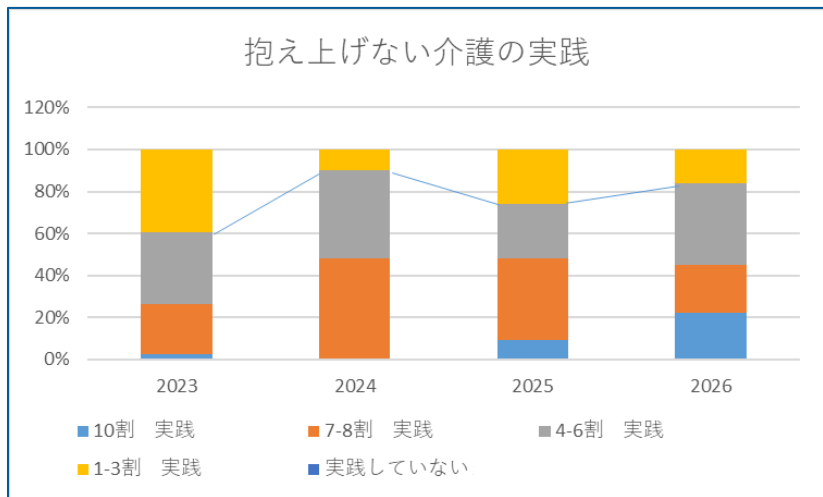
腰痛等 身体の痛み調査の結果

疼痛部位	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
腰	44%	31%	44%	49%	—	50%	71%	74%	58%
腕	44%	54%	14%	15%	—	13%	13%	8%	10%
肩	27%	31%	27%	23%	—	25%	13%	33%	16%
頸部	24%	8%	24%	20%	—	13%	13%	8%	0%

調査結果は、半数近くの職員が「腰痛」を抱えている状況。職員の入れ替わりなどもあるため、数値根拠は低い。日頃から痛みを感じている職員は、平均25%で、日によって痛みを感じる場合が60%であった。身体的負担の大きい作業として、移乗動作、入浴介助、オムツ交換となっていた。「ノーリフティングケア推進」を図ることでの腰痛者減少は見られないが、腕、肩、頸部に関しての痛みを訴える職員の数、数値の上下はあるが、減少傾向である。

03 取組結果・成果

ノーリフト実践率



・抱えない介護の実践率は、実施率4割以上の推移を表示。直近では、8割近い実践率で、未実施はなかった。用具の使用率は、入退職の影響や利用者の介護状況によって、使用する用具の使用率に変化があると思われる。

03 取組結果・成果

介助時の外傷インシデント

年度	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
介助時の外傷アクシデント	20	19	11	12	10	8	11	6
平均介護度	3.97	3.98	4.01	3.88	3.85	3.94	3.92	3.81
介護の平均常勤換算	-	32.2	37.3	41.4	37	33.6	33.2	31.8

・ノーリフト開始時期は、**移乗に伴う外傷アクシデント**は、20件前後であったが、取り組み開始後は、**徐々に減少傾向**へ。

離床件数と結石の影響による尿路感染

年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
結石による尿路感染症件数	6	5	6	11	2	4	3
離床件数	-	47,519	54,380	58,167	58,602	77,026	71,760

・**寝たきりによる、腎結石発生、それに伴う尿路感染が多いと感じていた**ので調査を開始。**減少傾向**にあるが、**因果関係までは証明は困難**。

04

取組のまとめ

04 取組のまとめ

ソフト面の取り組みが重要

※導入目的の共有、リーダーの育成、現場職員へのOJTと合わせて、用具が身近にある事などの整備があって、より利用促進効果が高まる。

レジリエンス

- 1.変化に対する柔軟性。
- 2.想定外に備える、弾力性、回復力を高めるための取り組み。

マインドフルネス

- 1.現状を受け入れる。
- 2.目の前の目標に集中。

アジャイル的思考

- 1.小さな計画を回転させる。
- 2.Try & Errorを繰り返す。

結果みんなが笑顔になることを目指して

ご清聴ありがとうございました。